



第31期
中間事業報告書

2002年4月1日から2002年9月30日まで

ローランド株式会社

財務ハイライト

9月30日に終了した6ヶ月間
単位：百万円(1株当たり金額を除く)

連結	2002年9月 中間期	2001年9月 中間期
売上高	31,675	29,270
経常利益	940	334
中間純利益	△ 645	△ 146
1株当たり中間純利益(円)	△ 25.28	△ 5.74
総資産	67,608	67,860

単独	2002年9月 中間期	2001年9月 中間期
売上高	14,382	13,945
経常利益	592	180
中間純利益	△ 277	485
1株当たり中間純利益(円)	△ 10.87	18.98
総資産	46,904	47,372

ローランド企業スローガン

創造の喜びを世界にひろめよう

BIGGESTよりBESTになろう

共感を呼ぶ企業にしよう

ローランド独自の企業活動の根底にある精神は、上記3つのスローガンに集約されます。これこそ当社の企業としての意志であり、無限の可能性を秘めた音創りの明日に向かって、果てしなく広がる、大きな夢の源にほかなりません。これからのローランドにどうぞご期待ください。

目次

- 01 | 株主のみなさまへ
- 02 | 営業の概況(連結)
- 03 | 業績の推移
- 04 | 新製品のご紹介
- 06 | トピックス
- 08 | 中間連結財務諸表
- 09 | 中間単独財務諸表
- 10 | 事業所
- 12 | 企業データ
- 13 | 株主情報



取締役社長 檀 克義

株主のみなさまには、ますますご清栄のこととお喜び申し上げます。

平素は格別のご高配を賜り、厚くお礼申し上げます。

さて、当社第31期中間期(2002年4月1日～同年9月30日)が終了いたしましたので、事業の概要および中間決算につき、ご報告申し上げます。

当中間期の業績につきましては、国内外ともに順調に推移し、売上高、営業利益および経常利益は前中間期と比較して増加しましたが、法人税等約5億6千万円の更正を受けたため、純損失となりました。中間配当金につきましては、8円50銭(年間17円の予想)とさせていただきます。

下半期の経済環境は国内外ともに不透明な状況が続くと予想されますが、さらに国内外のグループ全社が一丸となって通期目標の達成に取り組んでまいりますので、今後とも、株主のみなさまのご支援を賜りますようお願い申し上げます。

当中間期の概況

当中間期は、国内の景気指標の上ではこれまでの低迷を脱する兆しも見られた一方で米国の会計不祥事に端を発した株安が日本をはじめとして各国に波及して世界的な株安を招き、景気の先行きには不透明感が強まりました。

電子楽器事業の売上は、海外最大の市場である北米では順調に推移し、欧州では英国・ベネルクス等が好調でした。国内は依然として厳しい状況ながらも、電子ピアノ等の新製品に支えられ順調に推移しました。一方、コンピュータ周辺機器事業は大型カラープリンターを中心として特に輸出が好調に推移しました。

上記の結果、営業利益および経常利益は前中間期と比較して増加しましたが、法人税等約5億6千万円の更正を受けたため、当中間期は6億4千5百万円の純損失となりました。

(単位：百万円)

	売上高	営業利益	経常利益	中間純利益	1株当たり中間純利益
2002年9月 中間期	31,675	865	940	△645	△25円28銭
2001年9月 中間期	29,270	412	334	△146	△5円74銭
増減率	8.2%	109.8%	180.8%	—	—

開発・製造面では、執行役員に大幅に権限を委譲し、開発・製造をスピードアップし、下半期に向けて多数の新製品を投入できる体制を整備しました。また、電子ピアノの新製品には東南アジア製の部材を使用して競争力ある価格を実現しました。小型ギターアンプの新製品は、その全数を東南アジアで生産し、かつてない低価格で本格的な機能を搭載した製品として注目されています。昨年7月、中国蘇州市に設立した楽蘭電子(蘇州)有限公司は、当社グループの生産拠点へ半製品を供給して原価低減に貢献しています。

販売面では、音楽教室「ローランドミュージックスタジオ(RMS)」の展開に注力しています。9月に本選が開催された「RMSオルガン・ミュージックフェスティバル」は、全国から約4千名の応募者を集め、当社の電子オルガンの普及・浸透に大きく貢献しました。

(単位：百万円)

	電子楽器事業		コンピュータ周辺機器事業	
	売上高	営業利益	売上高	営業利益
2002年9月 中間期	24,762	159	6,913	706
2001年9月 中間期	22,937	△147	6,332	560
増減率	8.0%	—	9.2%	25.9%

事業別営業の概況

【電子楽器事業】

日本においては、シンセサイザーと電子ドラムの売上は減少しましたが、入門用機種から高級機種までラインアップを一新した電子ピアノと昨年発売した電子オルガンが、音楽教室「ローランドミュージックスタジオ」の教室収入とも相まって売上を伸ばしたため、全体の売上は増加しました。

北米においても、シンセサイザーの売上は日本と同様に減少しましたが、新製品の普及価格帯のデジタル・レコーダーが売上を伸ばし、ギター用マルチエフェクターも堅調に推移したため、全体の売上は増加しました。

欧州においては、ドイツ、フランス等では個人消費の停滞により売上は減少しましたが、英国とベネルクス等が引き続き好調であったため、全体の売上は増加しました。

前期に発売したビデオ編集機器「DV-7シリーズ」は、特に国内においてその優れた操作性と豊富な機能が中高年齢層を中心としたビデオ愛好者に評価されています。

【コンピュータ周辺機器事業】

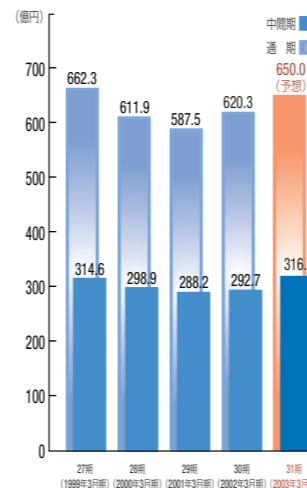
「カラー」(業務用大型カラープリンター)と「3D」(三次元入出力装置)の主力2分野ともに着実に売上を伸ばしました。

「カラー」の分野では、例えばバスや電車全体を巨大なカラー広告として使用する大型広告等の流行が業務用大型カラープリンターの需要を増加させました。一方「3D」の分野では、これまで大掛かりな設備投資を必要としていた3DCAD設計から3D出力までの過程をデジタル技術を駆使した小型機器を用いて小規模・低コストで実現する「テーブルトップ・ファブリケーション」を提唱し、先端企業との提携を通じ市場環境の育成とブランドイメージの確立に努めました。同セグメントの中核であるローランドディー・ジー・株式会社は、「カラー」「3D」のいずれの分野においてもハードからソフトまでを1社でユーザーのニーズを満たす解決策を提供する「トータルソリューション」企業として認知されています。

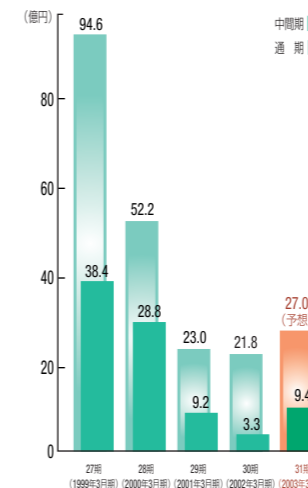
以上の結果、欧州を除く各地域で増収を果たし、全体の売上高も増加しました。

連結

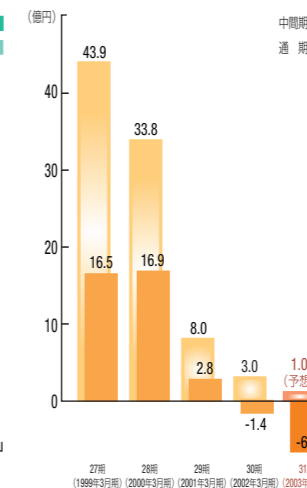
売上高



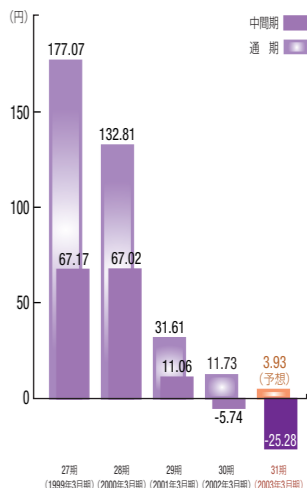
経常利益



当期純利益

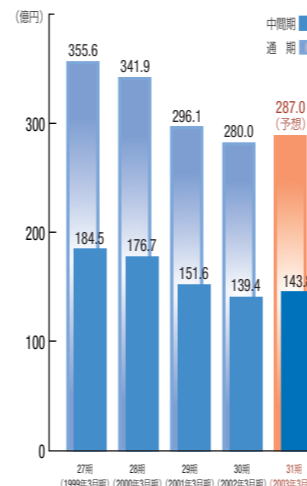


1株当たり当期純利益

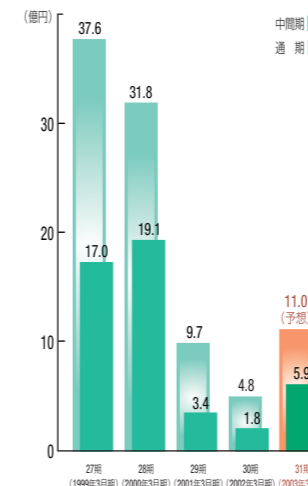


単独

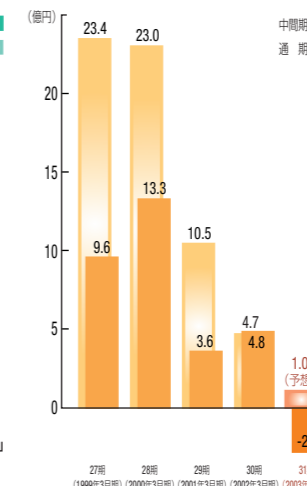
売上高



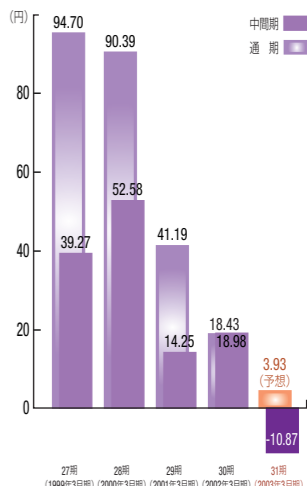
経常利益



当期純利益



1株当たり当期純利益



(注) 会計処理方法の変更により、2001年3月期よりロイヤリティ収入を売上高に含めて計上しています。なお、2000年3月期についても同様の表示としています。

画面の楽譜にタッチして楽しく練習できる電子ピアノ ローランドピアノ・デジタル 「KR-7」「KR-5」

「KR-7」「KR-5」は、ローランドならではの高品位なピアノ音と自然な弾き心地の鍵盤を搭載した本格的な電子ピアノ KR シリーズの新製品です。さらに、高品位なピアノ性能だけでなく、ご好評をいただいている最新の楽譜表示機能「デジスコア」、音符に触れば音が出て楽譜の読み方を助ける「おんぶにタッチ」、鍵盤から手を離すことなくミュージックデータの再生をコントロールできる「おたすけペダル」など、子どもや初心者の方も自分のペースで楽しく練習できる機能を搭載した新しい音楽の楽しみが広がる電子ピアノです。



ロジャース オルガンの最高峰 トリリウムシリーズ T967

ロジャース オルガンの最高峰トリリウムシリーズの最新機種です。パイプオルガンの一音一音を真摯に追求し開発された PDI 方式による豊かなサウンド、3D 立体音響を再現する RSS 技術を応用した残響支援システムによる大聖堂さながらの響き、迫力のフルレンジ・スピーカーと大口径サブ・ウーファーなどにより、最高のパイプオルガンサウンドをお楽しみいただけます。



感覚的な操作でループ・フレーズを作り出せる フレーズラボ MC-09

太い音とつまみによる明解な操作性が特長の DSP シンセサイザー、オリジナル・フレーズを自照式ボタンを使って感覚的に入力できるステップ・シーケンサー、オーディオ信号を取り込んで自動的にループ（繰り返し）再生することができる新開発オーディオ・ルーパーを一台に集約。従来、さまざまな機材を使って作成していたループ・フレーズを MC-09 一台で、効率よく作ることができます。MC-09 は、ダンス・ミュージックを中心に、幅広い音楽ジャンルで聞くことができるループ・フレーズを感覚的な操作で作ることができる新コンセプトのフレーズ作成マシンです。

本格的ギター・サウンドが 自宅でも気軽に楽しめる ギター・アンプ 「CUBE-30」 「CUBE-15」

「CUBE-30」(出力30W)と「CUBE-15」(出力15W)は、コンパクト・サイズながらギタリストがこだわる弾き心地を追求し、本格的ギター・サウンドを自宅で手軽に楽しめるギター・アンプです。さらに、CUBE-30 は、ローランド独自の技術 COSM (Composite Object Sound Modeling) を採用し、大型ギター・アンプの迫力を再現するアンプ・モデリング機能に加え、ギター・サウンドに多彩な効果を付加するエフェクツを装備。ギタリストがアンプに求める弾き心地やピッキングのニュアンスをコンパクトなボディに凝縮したギター・アンプです。



オーディオ CD 制作まで一台で完結した音楽づくりを サポートする デジタル・レコーディング・スタジオ BR-1180CD

ギタリストの作曲ツールとしてご好評いただいております BOSS デジタル・レコーディング・スタジオ BR シリーズの新製品「BR-1180CD」。初心者でもすぐに音楽づくりに専念できる使い勝手のよさを追求したシンプル操作に、20GB の大容量ハードディスク、充実の10トラック構成、迫力のドラム・サウンド、多彩な COSM (Composite Object Sound Modeling) エフェクトなど、音楽づくりの可能性が大きく広がる機能を満載しています。さらに、CD-R/RW ドライブを装備し、ワン・ボタン操作で簡単にオーディオ CD も作成できるオールインワンのデジタル・レコーダーです。



パソコンで高音質レコーディング環境を実現する スタジオ・パッケージ・プロ

高品位なマイク・プリアンプを内蔵し、ハイファイかつ繊細なレコーディングを実現するハードウェア「スタジオ・インターフェース SI-24」と、音楽制作に必要な全ての機能を備えたオーディオ/MIDI 総合ソフトウェア「LogicRPCPro」、大容量データの高速かつ安定したやり取りが可能な「R-BUS インターフェース・カード RPC-1」をパッケージ。ご自宅のパソコンで、クリエイターの理想を満たす 24bit/96kHz 高音質レコーディングが行える環境を実現いたします。

充実の専用 Web サイトで曲づくりをサポートする ミュージングネットスタジオ

「エディロール」ブランドの新製品「ミュージングネットスタジオ」は、楽しみながら手軽に音楽制作ができる Windows 用パッケージです。マウスで軽快に曲づくりが行える音楽制作ソフト「ミュージック・クリエイター (ネットスタジオ対応版)」と、600 種類を超える世界の楽器音や効果音を備えた MIDI 音源モジュール「Studio Canvas (スタジオ・キャンパス) SD-20」、接続用のケーブル類、さらにネットによる曲づくりのサポートや、レッスン・キットなど様々なコンテンツをワン・パックにした新しいコンセプトの製品です。これからパソコンミュージックをはじめようという方、楽器は弾けないけれど音楽をつくりたい方を、充実の専用サイトで応援します。



(注) 記載されている社名、製品名などの固有名称は、各社の登録商標または商標です。

ローランド エス・エス株式会社設立

業務用市場におけるローランドグループ製品の販売活動を行うローランド エス・エス株式会社を 2002 年 4 月 1 日に設立いたしました。学校・博物館・交通機関等の公共施設や、ショッピングセンター・アミューズメント施設等の民間施設など、さまざまな場所でお客様の要望に最適なシステムをご提案いたします。業務用市場への更なる販売の拡大に努めてまいります。



Roland S.S. Corporation

The 2001 Best New Product 受賞

ローランドのグループ会社でエレクトリック・ギター用コンパクト・エフェクター世界 No.1 のシェアを誇るボス株式会社が 2001 年 7 月に発売したエレクトリック・ギター用デジタル・レコーダー「デジタル・スタジオ BR-532」が、米国の大手楽器店「Musician's Friend」の High Tech カテゴリー部門において「The 2001 Best New Product」を受賞いたしました。



ローランド ミュージック スタジオ 佐鳴台センター開校

2002 年 6 月 1 日、静岡県浜松市の閑静な住宅地の一角にローランド ミュージック スタジオ株式会社の直営音楽教室「佐鳴台センター」を開校いたしました。ピアノ、オルガン、コンピュータ・ミュージックを柱に、お子様から大人の方まで幅広い世代の方々に楽しんでいただけるコースをご用意しています。ひとりでも多くの方へ音楽の楽しさを伝えてまいります。



第 12 回ローランド・ロジャース オルガン・フェスティバル開催

世界を舞台に活躍するプレイヤーを招き、オルガン・サウンドの魅力を中心くまでご堪能いただくコンサート「第 12 回ローランド・ロジャース オルガン・フェスティバル」を 2002 年 5 月 17 日浜松にて開催いたしました。3D 立体音場を再現する当社独自技術の RSS (ローランド・サウンド・スペース) システムを用い、あたかも大聖堂のような音場空間を再現。また、演奏に合った映像を 300 インチの大スクリーンに映し出し、演奏と映像の世界をじっくりと味わっていただきました。

(注) 記載されている社名、製品名などの固有名称は、各社の登録商標または商標です。

ローランド・シンセサイザー・ギャラリー 2002 開催

株式会社リットーミュージックのサポートのもと、幅広い層のお客様に気軽にローランドのシンセサイザーを体感していただくため、ローランド・シンセサイザー・ギャラリーを開催いたしました。著名アーティストによるセミナーをはじめ、シンセサイザーの歴史紹介、最新のシンセサイザーの展示や盛りだくさんのグッズ販売などご来場いただいた多くの方々にお楽しみいただきました。今後も全国各地で同様のイベントを開催し、シンセサイザー市場の活性化と拡大に努めてまいります。



ローランド上海営業開始

ローランドの中国向け輸出商社である新大阪技研株式会社が、中国上海に電子楽器の販売会社「ローランド上海」(英語名: Roland Shanghai Electronics Co., Ltd.) を設立し、2002 年 4 月 1 日よりローランドの中国 (台湾を除く) における輸出代理店として営業を開始いたしました。今後、中国市場におけるローランドの電子楽器等の販売網強化と拡大を目指してまいります。



中間連結財務諸表

中間貸借対照表 (連結)

2002年9月30日現在

(単位：千円)

(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	41,741,708	流動負債	11,641,579
現金及び預金	18,934,698	支払手形及び買掛金	2,887,549
受取手形及び売掛金	7,912,890	短期借入金	3,980,519
有価証券	40,136	一年以内償還予定社債	91,550
たな卸資産	12,573,514	一年以内返済予定長期借入金	8,489
その他	2,751,028	賞与引当金	1,044,931
		その他	3,628,539
貸倒引当金	△ 470,560	固定負債	771,616
		長期借入金	7,618
固定資産	25,866,972	役員退職慰労引当金	311,362
		その他	452,635
有形固定資産	16,289,260	負債合計	12,413,195
建物及び構築物	8,296,639		
機械装置及び運搬具	777,821	(少数株主持分)	
工具器具備品	1,740,336	少数株主持分	6,630,210
土地	5,398,102	(資本の部)	
建設仮勘定	76,360	資本金	9,274,272
		資本剰余金	10,800,378
無形固定資産	1,237,953	利益剰余金	30,478,688
		土地再評価差額金	△ 1,265,966
投資その他の資産	8,339,757	その他有価証券評価差額金	54,801
投資有価証券	3,735,396	為替換算調整勘定	△ 662,243
その他	4,617,787	自己株式	△ 114,657
貸倒引当金	△ 13,425	資本合計	48,565,274
資産合計	<u>67,608,680</u>	負債、少数株主持分及び資本合計	<u>67,608,680</u>

中間損益計算書 (連結)

2002年4月1日から2002年9月30日まで

(単位：千円)

(経常損益の部)	
営業損益の部：	
営業収益	31,675,532
売上高	31,675,532
営業費用	30,809,594
売上原価	18,923,018
販売費及び一般管理費	11,886,576
営業利益	865,937
営業外損益の部：	
営業外収益	305,274
受取利息	93,958
受取配当金	38,940
持分法による投資利益	44,806
その他	127,568
営業外費用	230,753
支払利息	64,521
為替差損	140,303
その他	25,929
経常利益	940,457
(特別損益の部)	
特別利益	40,118
前期損益修正益	33,998
固定資産売却益	6,120
特別損失	177,895
固定資産除売却損	39,191
投資有価証券評価損	138,703
税金等調整前中間純利益	802,680
法人税、住民税及び事業税	835,359
過年度法人税等	560,000
法人税等調整額	△ 141,426
少数株主利益	194,664
中間純損失	<u>645,915</u>

中間単独財務諸表

中間貸借対照表 (単独)

2002年9月30日現在

(単位：千円)

(資産の部)		(負債の部)	
流動資産	18,265,459	流動負債	5,764,042
現金及び預金	10,160,990	買掛金	1,426,162
受取手形	737,510	短期借入金	2,500,359
売掛金	2,824,485	未払法人税等	621,240
たな卸資産	2,728,833	賞与引当金	598,325
その他	1,826,680	その他	617,954
貸倒引当金	△ 13,040	固定負債	164,600
		長期借入金	7,618
固定資産	28,638,870	役員退職慰労引当金	148,000
		その他	8,982
有形固定資産	10,173,352	負債合計	5,928,642
建物	4,816,984	(資本の部)	
機械及び装置	295,174	資本金	9,274,272
工具器具備品	709,098	資本剰余金	10,800,378
土地	4,136,031	資本準備金	10,800,378
建設仮勘定	15,383	利益剰余金	22,226,804
その他	200,679	利益準備金	847,654
無形固定資産	388,536	任意積立金	21,336,660
		中間未処分利益	42,488
投資その他の資産	18,076,981	土地再評価差額金	△ 1,265,966
投資有価証券	12,659,281	株式等評価差額金	54,855
長期貸付金	1,506,506	自己株式	△ 114,657
その他	3,997,721	資本合計	40,975,686
投資評価引当金	△ 79,565	負債及び資本合計	<u>46,904,329</u>
貸倒引当金	△ 6,963		
資産合計	<u>46,904,329</u>		

中間損益計算書 (単独)

2002年4月1日から2002年9月30日まで

(単位：千円)

(経常損益の部)	
営業損益の部：	
営業収益	14,382,782
売上高	14,382,782
営業費用	14,306,033
売上原価	10,975,423
販売費及び一般管理費	3,330,610
営業利益	76,748
営業外損益の部：	
営業外収益	556,962
受取利息及び配当金	526,351
その他	30,611
営業外費用	41,314
支払利息	7,444
その他	33,870
経常利益	592,396
(特別損益の部)	
特別利益	1,075
特別損失	142,324
投資有価証券評価損	136,178
その他	6,145
税引前中間純利益	451,148
法人税、住民税及び事業税	194,000
過年度法人税等	560,000
法人税等調整額	△ 25,250
中間純損失	277,601
前期繰越利益	320,090
中間未処分利益	<u>42,488</u>



本社(大和堂島ビル1・7階)



細江工場

本社 工場	細江工場	〒 530-0004	大阪市北区堂島浜 1-4-16	06-6345-9800
	都田工場	〒 431-1304	静岡県引佐郡細江町中川 2036-1	053-523-0230
	伊左地工場	〒 431-2103	浜松市新都田 1-5-3	053-428-5141
	松本工場	〒 431-1111	浜松市伊左地町 3005-1	053-485-1818
	松本工場	〒 390-1242	松本市和田 4010-5	0263-48-0211
研究所	浜松研究所	〒 431-1305	静岡県引佐郡細江町気賀 4141	053-523-1771
	都田試験センター	〒 431-2103	浜松市新都田 1-5-3	053-428-5141
試験センター	都田試験センター	〒 431-2103	浜松市新都田 1-5-3	053-428-5141
流通センター	浜松流通センター	〒 433-8118	浜松市高丘西 4-7-19	053-437-7721
営業所	札幌営業所	〒 060-0042	札幌市中央区大通西 6-2-6	011-281-0708
	仙台営業所	〒 980-0014	仙台市青葉区本町 2-10-33	022-225-6221
	東京営業所	〒 101-0041	東京都千代田区神田須田町 2-7	03-3251-5595
	名古屋営業所	〒 460-0008	名古屋市中区栄 2-11-7	052-202-1881
	大阪営業所	〒 530-0004	大阪市北区堂島浜 1-4-16	06-6345-9521
	広島営業所	〒 730-0032	広島市中区立町 2-27	082-247-2731
	福岡営業所	〒 812-0011	福岡市博多区博多駅前 3-27-22	092-436-8971
	海外事務所	ロッテルダム (オランダ)		

音楽教室 (ローランド ミュージック スタジオ直営センター・スクール)

北海道センター	〒 060-0042	札幌市中央区大通西 6-2-6	011-281-1777
首都圏センター 渋谷	〒 150-0002	東京都渋谷区渋谷 1-15-21	03-3407-4100
東海センター 佐鳴台	〒 432-8021	浜松市佐鳴台 5-26-1	053-449-2502
東海センター サンブラザ	〒 465-0036	名古屋市名東区藤里町 1601	052-773-5881
東海センター	〒 460-0008	名古屋市中区栄 2-11-7	052-220-1440
関西センター 京都	〒 604-0845	京都市中京区烏丸通御池上ル二条殿町 548	075-211-8366
関西センター 梅田	〒 530-0001	大阪市北区梅田 1-3-1-100	06-6341-4639
広島センター	〒 730-0032	広島市中区立町 2-27	082-246-7511
福岡センター	〒 812-0011	福岡市博多区博多駅前 3-27-22	092-477-7088

グループ会社 (国内)

製造	ボス株式会社	〒 433-8118	浜松市高丘西 2-9-15	053-437-6610
製造	ローランド イーディー株式会社	〒 390-1242	松本市和田 4010-5	0263-48-0211
製造販売	ローランド テック株式会社	〒 431-1111	浜松市伊左地町 3005-1	053-485-1818
販売	ローランド アイ・ピー株式会社	〒 431-1305	静岡県引佐郡細江町気賀 4141	053-522-5231
販売	エディロール株式会社	〒 433-8118	浜松市高丘西 2-9-15	053-439-1144
販売	ローランド エス・エス株式会社	〒 101-0041	東京都千代田区神田須田町 2-7	03-3251-0245
デザイン	スタジオ アール株式会社	〒 433-8118	浜松市高丘西 2-9-15	053-439-3321
音楽教室	ローランド ミュージック スタジオ株式会社	〒 101-0041	東京都千代田区神田須田町 2-7	03-3251-5700
販売	ビデオ・ラボ・ネットワーク株式会社	〒 432-8021	浜松市佐鳴台 5-26-1	053-449-3970
製造販売	ローランド ディー・ジー株式会社	〒 431-2103	浜松市新都田 1-6-4	053-484-1200

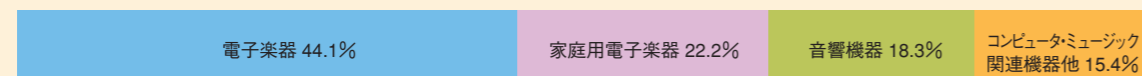
グループ会社 (海外)

販売	U.S.A.	Roland Corporation U.S. Edirol Corporation North America
	Canada	Roland Canada Music Ltd.
	Brazil	Roland Brasil Ltda.
	Australia	Roland Corporation Australia Pty. Ltd.
	U.K.	Roland (U.K.) Ltd. Edirol Europe Ltd.
Germany		Roland Elektronische Musikinstrumente HmbH.
	France	Roland France SA
Austria		Roland Austria GmbH
	Scandinavia (Denmark, Finland, Norway, Sweden)	Electronic Musical Instruments Roland Scandinavia A/S
Benelux (Belgium, The Netherlands, Luxembourg)		Roland Benelux N.V.
	Switzerland	Roland (Switzerland) AG
Italy		Roland Italy S.p.A.
	Spain	Roland Electronics de España, S.A.
Portugal		Tecnologias Música e Audio, Roland Portugal S.A.
	Hungary	Roland East Europe Ltd.
Taiwan		Roland Taiwan Enterprise Co., Ltd.
製造	U.S.A.	Rodgers Instruments LLC Roland Audio Development Corp.
	Taiwan	Roland Taiwan Electronic Music Corp.
	China	Roland Electronics Suzhou Co., Ltd.
Italy		Roland Europe S.p.A.

会社の概要 (2002年9月30日現在)

商号	ローランド株式会社 (Roland Corporation)
設立	1972年4月18日
資本金	9,274百万円
主な事業内容	電子楽器、電子機器及びそのソフトウェアの製造販売並びに輸出入
売上高	14,382百万円 (2002年9月期中間期 単独)
従業員数	760名

売上高の品目構成比 (単独)



輸出売上比率 70.5%

役員一覧 (2002年9月30日現在)

取締役社長 (代表取締役)	檀 克義	取締役	上野 博司
専務取締役 (代表取締役)	新田 寛	取締役	赤松 啓至
専務取締役	菊本 忠男	取締役	近藤 公孝
常務取締役	西澤 一朗	取締役	田中 英一
取締役	三木 純一	常勤監査役	甲佐 諭
取締役	飯村 泰弘	常勤監査役	古河 拓
取締役	庄司 東生	監査役	上田 茂實
取締役	本村 定則	監査役	川島 実
特別顧問	梯 郁太郎 (創業者)		
会計監査人	監査法人 トーマツ		

(注) 監査役 上田茂實および川島実は、株式会社の監査等に関する商法の特例に関する法律第18条第1項に定める社外監査役です。

株主メモ

決算期	3月31日
定時株主総会	6月
1単元の株式の数	100株
基準日	定時株主総会 3月31日 その他必要があるときは、あらかじめ公告して定めます。
配当金受領株主確定日	利益配当金 3月31日 中間配当金 9月30日
上場証券取引所	東京・大阪証券取引所市場第一部
公告掲載新聞	日本経済新聞
名義書換代理人	大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス http://www.daiko-sb.co.jp
同事務取扱場所	大阪市中央区北浜二丁目4番6号 株式会社だいこう証券ビジネス 本社証券代行部 電話 06-6233-4555
同取次所	株式会社だいこう証券ビジネス 各支社

■配当金口座振込のおすすめ 配当金のお受取りは、口座振込が便利です。口座振込の場合は、支払開始日に自動的にご指定口座へ入金させていただきますので、受取り忘れといったこともなくなり安心です。口座振込による配当金のお受取りをご希望の場合は、当社名義書換代理人 (株式会社だいこう証券ビジネス) に「配当金振込指定書」をご請求ください。

株式の状況 (2002年9月30日現在)

- 会社が発行する株式の総数 50,000,000株
- 発行済株式総数 25,572,404株
- 自己株式 100,087株
- 株主数 5,732名
- 大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
梯 郁太郎	3,084	12.1
ノーザントラストカンパニー(エイブイエフシー)サブアカウント アメリカンクライアント(常任代理人 香港上海銀行東京支店)	2,466	9.6
パイオニア興産株式会社	1,800	7.0
財団法人ローランド芸術文化振興財団	1,585	6.2
株式会社大和銀行	802	3.1
ローランド社員持株会	763	3.0
日本マスタートラスト信託銀行株式会社(信託口)	579	2.3
パイオニア株式会社	519	2.0
三菱信託銀行株式会社(信託口)	449	1.8
日本トラスティ・サービス信託銀行株式会社(信託口)	284	1.1

(注) 当社は、株式会社大和銀行の持株会社である株式会社リソナホールディングスの株式を1,984千株所有し、その持株比率は0.03%です。



<http://www.roland.co.jp/>

